



〔2021. 12. 24 〕発行

学校法人 帯広葵学園

所長 柴田 裕

## 本年も残りわずかとなりました。

この一年間、皆様には保育所運営に対しまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

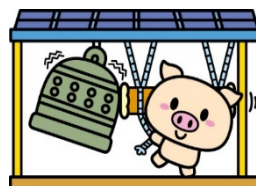
今年を振り返りますと、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大のために「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が実施され、日々の検温、手指の消毒、年間を通したマスクの着用、2回のワクチン接種など、これまで経験したことのない強い感染力に戸惑う一年でした。

その中で、保育所の事業は、実施時期の見直し、延期等で日程が後半にずれ込むなど日程が密になったものの概ね実施することは出来ましたが、国、町などの指導もあり、卒・入所式、運動会や学習発表会では出席人数の制限をお願いするなど、保育所生活において日々成長している姿を多くの方に実際に見ていただくことは叶いませんでした。

現在、南アフリカで確認された新たな変異株「オミクロン株」の世界的な感染拡大により、国内でも市中感染が確認されたとの報道もあり、年末年始の人の移動による感染が懸念される状況にあります。

音更、十勝では、感染者の発表がない日が2か月以上続く中で、ワクチン追加接種について事業が進められているところですが、今後とも、「三つの密の回避」、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指消毒」、「換気」といった基本的な感染防止の取り組みにつきまして、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

保護者並びにご家族の皆様方にはくれぐれも健康にご留意され、新たに迎える年が平穏で実り多い年となりますことを心からお祈り申し上げます。



## —今月のひとこま—

今月10日に南中音更ではクリスマス発表会が開催され、男児による「かっぱなにさまかっぱさま」、女児の「Make You Happy」などの遊戯、全員による劇「赤ずきんちゃんのクリスマス」など、練習の成果を思う存分披露し、その後、サンタクロースが登場、質問コーナー、ゲームが終わりに記念写真を撮りました。



同日、西中音更で発表会が開催され、「北風小僧の寒太郎」の曲に合わせて歓迎の踊りで始まり、年長児による遊戯「オレさまはドラキュラ」、全員による「大縄跳び」や年少・未満児による器楽演奏など、様々な演目を子ども達全員で一生懸命演じ切りました。



15日は、昨年に引き続き、イレイン先生をお招きし、3所の子ども達が東土狩保育所に集合してクリスマス会を行いました。

会では、先生の出身地の米国と日本のクリスマスの違いを学んでいる中、ご両親の言うことを聞かなかった子ども達へのプレゼント写真に写っているリボンの付いた黒く光っているもの（石炭）を尋ねられ、思わず「十勝石！」と答える一場面も。

「しっぽとりゲーム」を行った後、プレゼントを入れる靴下を製作、イレイン先生が靴下にそれぞれの名をローマ字で記入し、プレゼントも入れてもらいました。

最後は先生を交えて、全員で「はい ポーズ」、短い時間ではありましたが、楽しいひと時を過ごせました。

